

連載 第11回 かたづけのススメ

はじめに

本連載のテーマ「コスト削減」は重要であると分かっている、何から手をつければよいか迷ってしまうものです。そんな時にお勧めしたいのが「かたづけ」です。「かたづけ」と「コスト削減」の関係性は後述しますが、小さな改善であなたも職場も変わります。ポイントは、①全員で取り組むこと、②すぐに始めること、そして、③習慣化するまで続けること、の3つです。

弊社はSPD事業を展開し、倉庫内の環境管理が業務の効率化にとって重要であることを早くから社員へ啓発していたため、5S活動に力を入れていました。しかし、年月が経過するとともに活動がマンネリ化し、新たな取り組みを考え始めていたころ、スッキリ・ラボ代表の「かたづけ士」小松 易氏のメソッドに出会ったのです(図1)。その後、弊社顧問にお迎えし、近年は社内認定資格制度(図2)を設けるなど、全社を挙げてかたづけに取り組んでいます。

ここで少し、皆さんのワークスペースを思い出してみてください。「さあ、今日もバリバリ仕事をするぞ!」とワクワクするようなスッキリとしたデスクでしょうか? 山積みの書類を見てうんざりしていませんか? 「そのうち落ち着いたら片づけよう」と後回しになっていませんか?

コストの種類

さて、あらためてコストとは何でしょう? 調べてみると次のように書かれていることが多いと思います。

「費用。特に、商品の生産に必要な費用。生産費。原価。[補説] 金銭以外に、時間や労力などを含めていうこともある」

補説にあるように、コストの種類には金銭以外にも「時間的」、「肉体的」、「頭脳的」、「精神的」コストがあるといわれますが、かたづけは時間のコストを解決するツールであり、仕事の効率を向上させることで、結果としてコスト削減に寄与するものです。

例えば、平均的な社員は、1日に30分程度、書類、備品、パソコン内のファイルなどを探す時間に使っているといわれています。年間で約120時間(丸5日)、労働時間に換算するとおおむね15日分になります。それを平均的な人件費に換算すると、年間約36万円。社員100人の会社で年間3,600万円にもなるのは驚きの数字ではないでしょうか。

かたづけと仕事力向上

かたづけは後始末とは全く別のものです。視野を広げる、優先順位の判断を磨くなど、仕事力上げる「技能」であると捉えられます。また、見た目にも機能的にもスッキリとした環境は、仕事のパフォーマンスを上げるだけでなく、顧客の信頼を勝ち取

図1 小松 易氏とかたづけ士養成講座

主催：スッキリラボ×DALI

第5回

sukkiri-lab

～スッキリラボ 認定資格～

かたづけ士3級養成講座

スッキリラボ代表の小松易氏には平成30年3月からDALI様の顧問として社内5S活動のアドバイスをしていただいています。年に1回、これまで「整理」「整頓」「習慣化」「しくみ化」についての研修を実施していただきました。

日程 **2021年6月26日(土) 13:00～16:00**
※第6回 2021年8月28日(土) 8:30～11:30

会場 **オンライン(zoom)** 拠点：札幌・新潟・青森地区

費用 **無料(会社負担)** 資格取得を推奨しています！
※研修に不安のある方は事前テストできます

参加方法 **WEB講座** ご自宅のPCでも受講可能です！
① zoomがインストールされた端末へ招待URLコードを送信
② 研修当日、開始時間10分前までに入室 (URLをクリックコードを入力、カメラはONでお願します)

申込・締切 **申込は各事業所マネージャーもしくはは管理部まで 6月21日(月) 締切**

かたづけの研修を学ぶことで、職場環境改善はもちろん、家庭でも役立つこと間違いなし！
資格を取得して、まずは5Sユーザーデビューしませんか？
3級<2級<1級<S級 (かたづけマスター)
ステップアップしてかたづけマスターを目指しましょう！

図2 社内認定資格制度

CERTIFICATE
修了証

**かたづけ士養成講座
2級**

番場省吾 殿

あなたは、スッキリ・ラボの「かたづけ士養成講座・2級」を修了したことを証します。

2022年 11月 14日

スッキリ・ラボ代表 小松易氏
かたづけ士 小松 易

sukkiri-lab

る大切な要素でもあるとも考えています。

よくいわれるように、とかく仕事は慣れてくると手抜きのポイントが見えてくるので、惰性でもそこそこできてしまいます。しかし、惰性で仕事をしていては一流にはなれませんし、心のこもらない仕事は見抜かれ、信頼は地の底まで落ちることでしょう。礼儀礼節や基本をおろそかにしている一流の仕事人はいないし、プロフェッショナルこそ基本に忠実です。

「かたづけ」と「貯蓄」は同じ原理？

蛇足になりますが、「貯金が少ない人の家は、たいいてい散らかっている」という定説もあるようです。お金を貯められない人はかたづけが苦手、もしくはできていない傾向が強い。これは逆に言うと、お金が貯められる人はこれらの当たり前の生活がきちんとできている場合が多い、ということになります。

貯蓄するためには、支出の管理が必須です。それが自分にとって今必要なモノなのか、発作的に欲しいモノなのかという判断力が働いている方は、かたづけにおいても冷静に取捨選択ができる方といえると思います。

たかが「かたづけ」 されど「かたづけ」

昨今、働き方改革が叫ばれていますが、皆さんが目指す大切な「働き方」は何でしょうか？ ムダなモノにエネルギーを取られることなく、いつも余裕を持って仕事に集中できる。周りの人たちと楽しくコミュニケーションしながら仕事ができる。「これでいい」ではなく、「これがいい」に囲まれている。そんな職場が理想ですよね。

今回の話でピンときた人は、ぜひ、病院全体でかたづけに取り組んでみてはいかがでしょうか？